

事務事業名		塩谷町図書館臨時職員雇用事業				<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業			
総合計画	政策名	0:2: 豊かな人を育むまちづくり				所属課	生涯学習課	担当	生涯学習担当
	施策名	0:3: 生涯学習環境の充実				課長名	関 雄治	担当者名	川上 誉之
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	
		0:9	0:4	0:2	0:0:3	公民館図書室運営費	社会教育法・図書館法・塩谷町図書館条例		
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~
事務事業の概要(事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 塩谷町図書館は本年4月1日より開館したが、以前の町公民館図書室より利用者数・貸出冊数ともに増加している。また、開館時間も9時から19時までと従来より2時間延長(平日のみ、土日は17時)したため事務時間を含め全体的な事務量も増加しました。 現在の図書館に係る職員の配置については、臨時職員1名が火曜日から土曜日の9時から16時までに行い、臨時職員がいない平日の4時間、土曜日の2時間及び日曜日の8時間については生涯学習課と学校教育課の職員で対応していますが、時間になったら図書館に向かわなければならず、それまで行っていた業務が中断してしまうなど本来の業務にも支障をきたしている。 以上のような理由により平成25年度から図書館臨時職員を2名体制にすることを企画するものである。</p> <p>2 概算事業費 800円×10h×22日×12ヵ月=2,112,000円</p>							

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等) 図書の貸出・返却・登録や調査回答など図書業務に係る事務量		名称	単位
		ア開館日数	日
		イ作業時間	時間
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載) 町民 利用者(延べ)		(5) 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位
		名称	単位
		ア町民	人
		イ利用人数	人
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載) 利用冊数の増加 利用率の増加		(6) 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位
		名称	単位
		ア利用冊数	冊
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 実績値	日 日	304 289	290	290	290	290
	イ	目標値 実績値	時間 時間	1,440 2,640	2,640	2,640	2,640	2,640
対象指標	ア	目標値 実績値	人 人	13,000 12,940	12,880	12,820		12,500
	イ	目標値 実績値	人 人	7,600 7,900	8,100	8,300	8,500	8,800
成果指標	ア	目標値 実績値	冊 冊	12,000 12,300	12,600	12,900	13,200	14,400
	イ	目標値 実績値	0 0					

計画		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度	
事業費 投入量	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	1,152	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112
	事業費計(A)	千円	1,152	2,112	2,112	2,112	2,112	2,112
人件費	正規職員従事人数	人	13	0	0	0	0	
	延べ業務時間	時間	1,500					
	人件費計(B)	千円	6,000	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,152	2,112	2,112	2,112	2,112	

実績		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成32年度
事業費 投入量	国庫支出金	千円					
	県支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円		2,112			
	事業費計(A)	千円	0	2,112	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人					
	延べ業務時間	時間					
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	2,112	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町立の図書館運営に関するものであるためである。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	1日(10時間)の開館時間のうち4時間も専任に事務を行う職員がいない事態となっており、早急に着手しなければならない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	週5勤務としてそれに開館時間(9時から19時の10時間)をかけて算出した。正規職員が対応するよりはるかにコストが安価である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	開館時間に臨時職員を配するだけであるので公平性は考慮されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日：平成 25 年 1 月 4 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・臨時職員が不在となる16時以降は、生涯学習課及び学校教育課職員が対応しているが、通常業務に支障が出る、振替の休暇を取得できないなど、苦慮している状況から、2名体制にすることは妥当と判断できる。 ・次年度事後評価を実施するが、評価は、公民館図書室運営事業のマネジメントシートで実施する

4 成果検証

事後(中間)評価日：平成 26 年 4 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業